

◆「時の封」フィルム作りの最終ワークショップ in 旧・広野幼稚園

関連企画

2月 15日(土)、2月 16日(日)

「いよいよ最後の“時の封”に向けて、集大成のワークショップ!!」

時間 11時～17時 (時間内なら随時ご参加OKです。)

参加費 無料 ※事前申込不要 ※旧・広野幼稚園 (広野町下浅見川築地73-1) 集合です!



◆「おおて博士のネイチャー ガーデントーク」

2月 22日(土)、23日(日・祝)

「浜通りの自然と、土地の営みのスペクタクル。」

時間 14時～16時 (時間内なら随時ご参加可能です。)

参加費 無料 ※事前申込不要 ※旧・広野幼稚園 (広野町下浅見川築地73-1) 集合です!



◇大手 信人_おおて のぶと博士 (京都大学大学院生態圏情報学教授)

1964年生まれ。奈良出身。森林生態系の水と物質の循環に関する研究を専門とする。東日本大震災に伴う原発事故による森林の放射能汚染についてのモニタリングを伊達市で続けている。

～メッセージ～広野町は海から里を通して山まで、日本の代表的な景観をすべて持っているようなうつくしい町だと思います。自然と生業 (なりわい) を再発見して、ふるさとの未来を考えましょう。

◆「ライトアップ 3.11.」

3月 7日(土)～11日(水)

「海と山と、記憶の彼方へ」

時間 17時～21時 (※7日(土)、8日(日)は21時迄、夜間開園)

協力 特定非営利活動法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム



写真はイメージです。

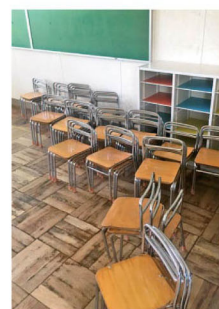
「時の封」アートディレクション

◇森野 晋次_もりの しんじ/現代美術家、アートプロジェクト気流部代表。

京都出身。地域や社会の中で、空気や風をモチーフに、アートを通じて多様な人達が関わる、共創的アートプロジェクトを全国各地で展開。

瀬戸内トリエンナーレ2019など、展覧会や国際芸術祭など参加多数。気流部HP → <http://kiryu-bu.com/>

～メッセージ～「時の封～ひろの2120」は、特定非営利法人広野わいわいプロジェクトと気流部の“地域とアート”の新たなコラボレーションです。広野から楽しい空気と共に、アートで双葉・広野の風土を未来に伝えよう!



旧・広野町立広野幼稚園の紹介

2019年3月をもって閉園となり、現在は保育園業務と一緒に広がる広野町認定こども園に移転。低層の建築で、2階にはホールがあり、舞台設備が備わっている。東部分の屋上テラスからは、太平洋が臨め、園歌で唱われているように、浜通りの風を身体で感じられる。園舎の南側に園庭がひろがり、いくつもの遊具が今も残っている。※2020年2月現在



お問い合わせ

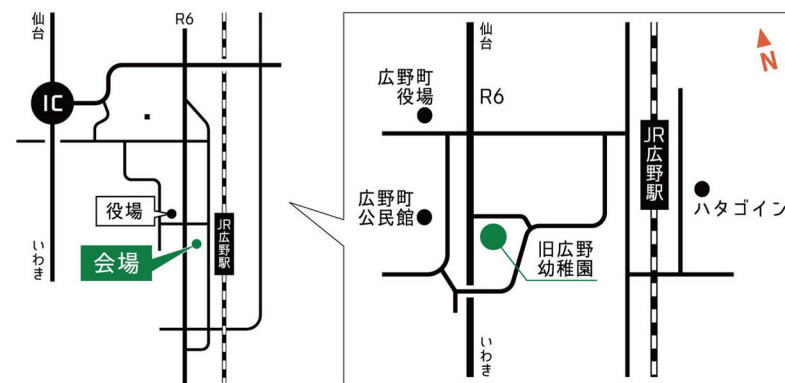
ご来場、お待ちしております

ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ事務局
(NPO広野わいわいプロジェクト内)

Mail ▶ info@hironowaiwai.org

Web ▶ <https://hironowaiwai.org>

主催 / 特定非営利活動法人広野わいわいプロジェクト
共催 / 広野町 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター
後援 / 広野町教育委員会
企画 / アートプロジェクト気流部



ACCESS

会場: 旧広野幼稚園 (広野町下浅見川字築地73-1)
JR広野駅より徒歩5分/常磐道 広野・楡葉ICより車で8分



百年後へ、
風の便りを広野町から送り返りませんか?

時の封
ひろの
2120

ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ事業

Photo by Aoki Yusuke

福島県双葉郡広野町の海辺から山々にかけて採集した植物の断片を押し花、押し葉にし、ラミネートフィルム(数千枚)でその時々を封印。ワークショップを通じて、浜通りの地域の皆さんが制作参加した、この地、この時を記憶する作品群を「時のモニュメント」として公開します。

期間 | 2020年2月22日(土)～3月11日(水)

場所 | 旧・広野町立 広野幼稚園

特別開園日 展示期間内の各週末(土・日)及び祝・休日 10時～17時
2月22日(土)、23日(日・祝)、24日(月・振休)、29日(土)、3月1日(日)、7日(土)、8日(日)

◇「ライトアップ 3.11.」 3月7日(土)～11日(水) 17時～21時 ※7日、8日は夜間開園。
震災から9年目、10年目に向かうにあたり、幼稚園全体をライトアップ致します。

主催/特定非営利活動法人広野わいわいプロジェクト 共催/広野町 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター
後援/広野町教育委員会

協力/特定非営利活動法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム

企画/アートプロジェクト気流部

ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ事業/このイベントは、独立行政法人中小企業基盤整備機構の賑わい回復支援事業の助成金を受けて開催いたします。

「時の封〜ひろの2120」〜100年後へ、風の便りを送り返ませんか？

震災から9年がたとうとしています。

福島県内には、未だに放射能汚染により帰還困難な地区がある中ですが、少しずつ少しずつ人の営みが戻ってきています。

そこには太平洋に面しながら、背後には里山が広がる豊かな光景が広がり、自然と人との関わりが未来に向けて再びこの土地で育まれています。

このプロジェクトは、それらのプロセスをアートによる新たな風景づくりとして、地域の方々や来訪者の方々が参加し寄り添う、アーカイブモニュメントとして

たち現していきます。100年後に向かう浜通りの風の中で、過去、現在、未来へと通じる作品が双葉郡広野町から生まれます。

現代美術家 森野晋次（「時の封」プロジェクト企画）

「ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ」

一人一人のアイデンティティーの表現を手助けするアートや、山や海と繋がった生活や事物の連環をもう一度考え始めるプロジェクトで、

市町村の枠組みを超えた人と人の繋がりを回復する。それが「ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ」です。

「時の封」からスタートしたこの活動が継続してゆくことによって、住民同士の間に関連感が芽生え、ふくしま浜通りという地域性を持った

芸術や文化が育成され発信されてゆくことを目指しています。

建築家 安部良



そらがみえます
 おかのうえ
 あかるいひざしが
 葉をてらす

みんな
 ならんで
 はばたいて
 みるいにむかって
 しるそうよ

※この詩は、広野幼稚園の園歌をモチーフに、「時の封」プロジェクトにあわせて創作したものです。

「時の封〜ひろの2120」〜100年後へ、風の便りを広野町から送り返ませんか？

ふくしま浜通り・アートミュージアム&ラボ

うみがみえます
 おかのうえ
 とおくにうかんだ
 しろいふね
 みんな
 げんきに
 にわにでて
 かぜといっしょに
 あそぼうよ

広野幼稚園 園歌(1)

やまがみえます
 おかのうえ
 きょうもことりが
 とんでくる
 みんな
 なかよく
 わになって
 あかるいこえで
 うたおうよ

広野幼稚園 園歌(2)